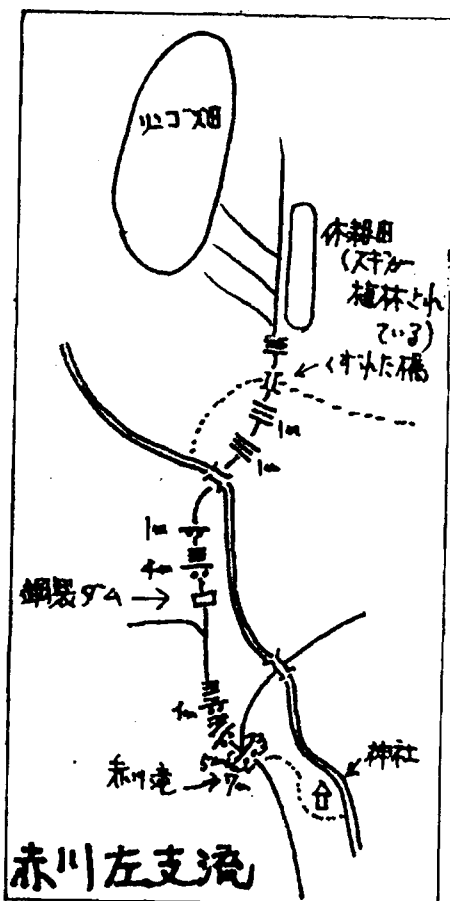


の傾斜勾配も急になり、水の流れも細くなってきた。

左岸より、水量では本流より多いと思われる支沢が数段もの滝を連ねて落ちている。どちらが本流なのか、地図で現在位置を確認し、こちらが本流と確認して先に進む。途中3mの滝が出てきたが、水も濁れ源頭部となったあたりで遡行終了として引き返す。

(記・)

[タイム] 林道ゲート(13:30)→砂子沢出合(14:00)→遡行終了(14:50)



赤川左支流

1985年10月26日

L: ...

山々の木々の葉もこの時期になると色あでやかになり、反面水の冷たさは身にこたえてくる。本日の調査をもって1985年の福島登高会の沢登りは、終了である。

赤川左支流は、赤川滝が起点となる。市道より滝まで道がついており、手前には神社がある。

滝口まで降りていき、若林さんが写真におさめて、再度市道に戻る。遡行は赤川滝の上から開始。

滝口からはナメの連続であった。このあと沢は市道に並行している。周囲は杉の造林地で明るい。途中、4mの滝があった。

市道と分かれた途端、沢幅は1~1.5m。そしてものすごい数である。藪との戦いを始めて20分、沢の流れも細くなってきたので終

了とする。右岸の支沢を登っていくとリンゴ畑に飛び出した。(記・ハ---

[タイム] 赤川滝(14:00)→終了(14:45)